

## 町の無料相談

相談種類		日にち	時間	相談場所	申込み・問合せ
法律相談	弁護士	2/12(水)、2/25(火) 3/11(火)、3/24(月)	13:30～16:00	役場会議室	役場総務課☎④313（要予約）
	行政書士	2/19(水)、3/19(水)	10:00～15:00	役場会議室	役場総務課☎④313
人権・行政相談		2/13(木)、3/13(木)	13:30～16:00	役場会議室	役場総務課☎④313
成人健康相談		2/3(月)	10:00～11:00	役場1階町民ホール	保健センター☎294-5511
		3/6(木)	10:00～11:00	保健センター	
電話健康相談		平日	9:00～17:00	保健センター☎294-5511	
育児ほっと相談室		2/19(水)、3/19(水)	10:00～11:00	保健センター	保健センター☎294-5511
ものの忘れ相談会		毎月第3木曜日	10:00～12:00	中央公民館	地域包括支援センター ☎295-2112④126
子育て相談 なんでも話してみよう		平日 ※オンライン相談あり	10:00～15:00	役場相談室 子育て支援センター	子育て支援センター ☎294-4820（要予約）
教育相談		平日	10:00～16:30	教育センター☎295-2525（電話相談可）	
心配ごと相談		平日	8:30～17:00	社会福祉協議会（毛呂山町川角303-3）☎295-0601	
消費生活相談		毎週月・火曜日	10:00～15:00	役場相談室	役場産業振興課
生活困窮者自立相談 ※生活保護受給者以外		平日	8:30～17:00	アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所 （社会福祉協議会内）☎080-2274-1445	

毛呂山町は、はじめに昭和14年(1939)、現在の町西部の山間地にあった山根村と、町中央部にあった毛呂村が合併して毛呂山町となり、その後、昭和30年(1955)4月1日に旧毛呂山町と川角村が合併して、現在の毛呂山町が誕生しました。昭和30年の合併当時はどのような様子だったのでしょうか。

時代は重化学工業を中心に日本の高度経済成長が始まり、終戦直後には想像もできなかった好景気に見舞われていました。しかし、毛呂山町は依然として田畑が広がる農村地帯で、昭和30年ごろは、宅地面積156ヘクタールに対し、田畑の面積は1069ヘクタールと宅地の6倍もあり、田畑では米・麦・雑穀・さつまいもなどを耕作していました。田畑のほかに養蚕(ようさん)も主要産業で、蚕(かいこ)の餌となる桑畑の面積は154ヘクタールと、宅地とほぼ同じぐらいの面積がありました。乗用車はまだ町内で6台、貨物自動車は9台しか所有されていませんでしたが、馬は33頭もあり、耕作や運搬などの貴重な動力となっていました。

## 歴史散歩!

第368回

毛呂山町合併70周年を迎えて

～合併当時の毛呂山町～

そのようなのかな毛呂山町にも昭和36年ごろから団地造成が始まり、東京方面へ向かうサラリーマンのベッドタウンとしてにぎわいはじめます。

昭和38年度から国の農業構造改革の政策により、毛呂山町は養鶏・養豚・養蚕の主産地とされたため、町のあちこちで養鶏場や養豚場が見られるようになり、養蚕飼育のための近代化施設も拡充しました。商工業は、合併と同年に毛呂山町商工会が会員200人で設立。工場誘致も行われ、自動車の普及に伴い、道路舗装も始まりました。

新毛呂山町の建設計画書(昭和33年度)には町道の新設と改良、橋りょうの改良、電話の整備、小中学校の整備、公民館・社会福祉施設・水道など近代社会に対応する整備等、毛呂山町がこれから歩む都市化への基盤となる計画が掲げられ、進められました。

新しい毛呂山町は、にぎやかな町場と周辺の自然豊かな農山村が共存する町としてスタートしたのです。



昭和40年代前半の毛呂山町中央部の航空写真(福田稔氏提供)